



消防大学校だより

予防科における教育訓練

消防大学校では、専科教育において、予防業務の指導的立場にある職員を対象として、予防業務に関する高度な知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に「予防科」を設置しています。

予防科は、年度内に2回実施しており、今年度1回目となる第114期は、令和5年6月19日から8月2日までの日程で実施し、全国の消防本部等から集まった30名全員が無事卒業しました。

講義では、消防庁において審議官による講話や予防課長による予防行政の動向のほか、多くの消防本部から消防職員を講師として迎え、消防同意や消防用設備等の審査・検査要領をはじめ、危険物規制及び火災調査の基礎等についてご講義いただきました。

また、令和4年度消防庁予防業務優良事例表彰本部から講師を招き、電子申請関係の推進やICTを活用した消防広報のあり方について講義いただいた他、小・中規模消防本部で先進的な取り組みを行っている消防本部からも講師を招聘し、図上訓練を用いた違反是正等について論じていただくとともに、シュミレーション訓練を通じ、各学生の所属する様々な規模の本部に、より現実的で実効性の高い講義・演習を行いました。

入校式集合写真



その他法令等の知識や予防実務の講義だけでなく、関係者に対して適切な指導をする上での交渉術を身につけるため、警察庁指定広域技能指導官による説得技法や危機管理広報として報道対応演習、パワーポイント資料の作成要領など、指導者として必要な知識・技術の習得のための講義は、多くの学生から好評を得ました。

課題研究では、学生が職場で抱えている問題等を持ち寄り、現在の社会情勢を踏まえ、新しい発想や考え方に基づいて、将来あるべき予防行政について検討を重ね、日課だけでなく課外においても、図書館で文献を調べたり、寮の談話室で討議を行うなど、熱心な取り組みが行われました。発表は、消防庁予防課から講評者を迎え、各班とも緊張の中、満足のいく発表ができ、活発な意見交換ができました。

学生からは入校当初の目標を達成することができ、大変有意義であったとの意見が多く寄せられました。同じ目標を持つ仲間が全国から集い、入校期間中は様々な意見を交わすことができたことは、大変貴重な経験であったと思います。

今後は、消防大学校で習得した知識・技術や課題研究での取り組みを、それぞれの所属で日々の業務に活かしていただき、地域の安心・安全のためにご活躍されることを心から願っております。

違反処理実習の様子





消防大学校だより

火災調査科における教育訓練 ～各種調査実習の紹介～

消防大学校では、火災調査業務に関する高度な知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に、専科教育として「火災調査科」を設置しています。

火災調査科は年度内に2回実施しており、今年度1回目となる第44期は、令和5年5月25日から7月12日までの期間で実施し、全国から集まった30名全員が無事卒業しました。

今回は火災調査科で実施している主な実習について紹介します。

【模擬家屋調査実習】

模擬家屋調査実習は、家財等を設置した約6畳の木造家屋に火災を発生させ、消火後に実際の火災現場に即した形で火災調査を行い、現場における調査技術の向上を図るものです。

実習は約5日間に渡り行われ、延焼中の調査活動から始まり、鎮火後の本格的な調査を行います。学生はそれぞれの任務分担に基づき、関係者への聴取、現場発掘、鑑識、再現実験及び関係者への結果説明などを協力して実施し、現場調査後は学生一人ひとりが火災調査書類を作成します。

模擬家屋での調査



【車両火災鑑識実習】

車両火災鑑識実習は、火災を発生させた乗用車を鑑識し、車両内部の構造を学ぶとともに車両火災の鑑識技術の向上を図るものです。

実習は関係者からの情報収集から始まり、工具を使用して車両を分解し、出火箇所における出火原因の検討を行うなど、全員で協力して車両の鑑識を進めていきま

す。エンジン内部を分解し構造を確認できるなど、実際に焼損した車両を分解できる機会は貴重であることから、有意義な実習となっています。

車両下部の見分



【電気火災鑑識実習】

電気火災鑑識実習は、電気製品から出火した火災を想定し鑑識を実施することにより、電気火災における鑑識技術の向上を図るものです。

この実習では、焼損した機器の適正な分解方法や異常箇所の見分要領を学ぶとともに、X線透過装置などの分析機器を活用した科学的な火災調査を行うなど、電気製品鑑識の一連の作業について学ぶことができます。また、電気製品から出火した火災の調査を苦手とする学生が多いなか、電気火災の出火原因に関する知見を深めることができる人気の実習となっています。

電気製品の分解



問い合わせ先
消防大学校教務部
TEL 0422-46-1712